

令和元年度（2019年度）  
南相馬市国民健康保険  
保健事業実施計画（データヘルス計画）  
中間評価

令和2年3月

南相馬市

## 1. 保健事業実施計画（データヘルス計画）の概要

### （1）計画の趣旨

国民健康保険（以下、「国保」という。）法に基づく保健事業は、国保被保険（加入者）の生活習慣病の予防及び重症化予防に取り組み、健康保持増進を図ることで医療費適正化と健康寿命の延伸を目指し、実施しております。

また、国保被保険者は、健診・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、保健事業の実施計画（以下、「データヘルス計画」という。）を策定し、その実施及び評価を行うものとされております。

### （2）本市の計画の位置付けと中間評価

本市のデータヘルス計画は、上位計画である南相馬市総合復興計画、南相馬市保健計画との整合性を図り、平成29年3月に平成28年度から令和5年度までの8年間の計画として策定し、保健事業の中核をなす特定健診等実施計画とあわせ事業を実施した中で、生活習慣病対策をはじめとして、加入者の健康増進及び疾患予防に取り組んでまいりました。

本中間評価は、計画期間の中間年度である令和元年度に、平成30年度までの事業実績などの状況を踏まえた評価を実施し、福島県国民健康保険連合会保険事業支援・評価委員会の支援を受け、目標値などを見直した内容を報告するものです。

#### 【データヘルス計画とその他の計画期間】

区分	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
【市全体】 復興総合 計画			南相馬市復興総合計画 前期基本計画（H27~H30）				南相馬市復興総合計画 後期基本計画（R元~R4）				
【市全体】 保健計画	南相馬市保健計画 （後期計画）						南相馬市保健計画 2018				
【国民健康保険】 データヘルス 計画				南相馬市データヘルス計画（8か年） * 令和元年度中間評価							
【国民健康保険】 特定健診等 実施計画	第二期特定健診等実施計画 （5か年）						第三期特定健診等実施計画 （6か年）				

## 2. データヘルス計画の目標と実施事業

本市の健康課題を解決するため、生活習慣病の発症や重症化を予防することを本計画の目的と位置づけます。

特に脳血管疾患、心疾患、糖尿病性腎症の発症や重症化予防を最優先に取り組むものとします。

### (1) 短期目標

脳血管疾患、心疾患、糖尿病性腎症の基礎疾患である「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」の発症を抑制することが必要です。

そのためには、被保険者自身が自分の健康状態を把握、自覚することが大切です。また、市においては、特定保健指導の対象者を的確に把握するためにも、特定健診の受診率向上と特定保健指導の向上に取り組めます。

### (2) 中長期目標

短期目標に掲げた保健指導を継続的に取り組むことにより、脳血管疾患、心疾患、糖尿病性腎症の発症、重症化予防につなげていきます。

これらの取組みを継続することにより、医療費の抑制にもつながることが期待されています。

### (3) 保健事業

- ① 特定健康診査事業
- ② 特定保健指導事業
- ③ 重症化予防事業
  - ・糖尿病性腎症重症化予防事業
  - ・生活習慣病重症化予防事業
- ④ ポピュレーション事業
  - ・広報事業
  - ・健康意識向上推進事業
  - ・家庭血圧測定の啓蒙
  - ・健康づくりのための健康教室
- ⑤ がん検診事業
- ⑥ 重複・頻回受診者への適切な受診指導
- ⑦ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進

### 3. 中間評価の実施

データヘルス計画はレセプト等のデータを分析し、優先的な健康課題について保健事業を立案しています。

このことから、中間評価では策定時に計画した保健事業について実績に基づき評価し、健康課題が解決に向かっているか否かを計画の途中で確認し保健事業を見直します。

評価指標については、データヘルス計画策定時に設定されていた目標値と「国民健康保険のためのデータヘルス計画 中間評価マニュアル」を参考に評価・見直しを行いました。

アウトカム	事業の目的や目標の達成度、成果の数値目標を評価
アウトプット	保健事業の結果（実施率等）を評価
プロセス	保健事業の実施過程や活動状況を評価
ストラクチャー	保健事業を実施するための仕組みや体制を評価

#### 【具体的な評価の手順】

- (1) データヘルス計画の短期目標及び中長期目標について、計画策定時のベースラインとなる平成26年度のデータと各目標値との比較を行い、達成状況や改善状況を判定します。
- (2) 個別の保健事業については、事業の目的や目標達成に向けた実施体制や活動状況を評価し、課題を踏まえた見直しや、新規事業の取組みについて検討します。
- (3) 平成30年度の実績値をベースラインとして、計画最終年度である令和5年度までの保健事業の評価指標と目標値について、経年変化や社会情勢を踏まえ必要に応じて修正や再設定を行います。

また、平成30年度までの実績を基に中間評価をまとめるにあたり、外部の有識者である「福島県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会」の委員からの助言、福島県国民健康保険団体連合会から支援を受け中間評価を行いました。

#### 4. 南相馬市国民健康保険全体の経年変化について

##### (1) 被保険者の状況

図表1 平成30年度 被保険者構成

	南相馬市				福島県	全国
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度	H30年度
0～39歳	25.2%	23.5%	21.7%	21.2%	21.6%	27.2%
40～64歳	37.9%	36.6%	34.4%	33.1%	33.2%	32.8%
65～74歳	36.9%	39.9%	43.9%	45.7%	45.2%	40.0%
加入率	29.4%	27.4%	31.4%	30.0%	22.6%	24.5%
平均年齢	51.9歳	52.8歳	54.0歳	54.5歳	54.3歳	51.3歳

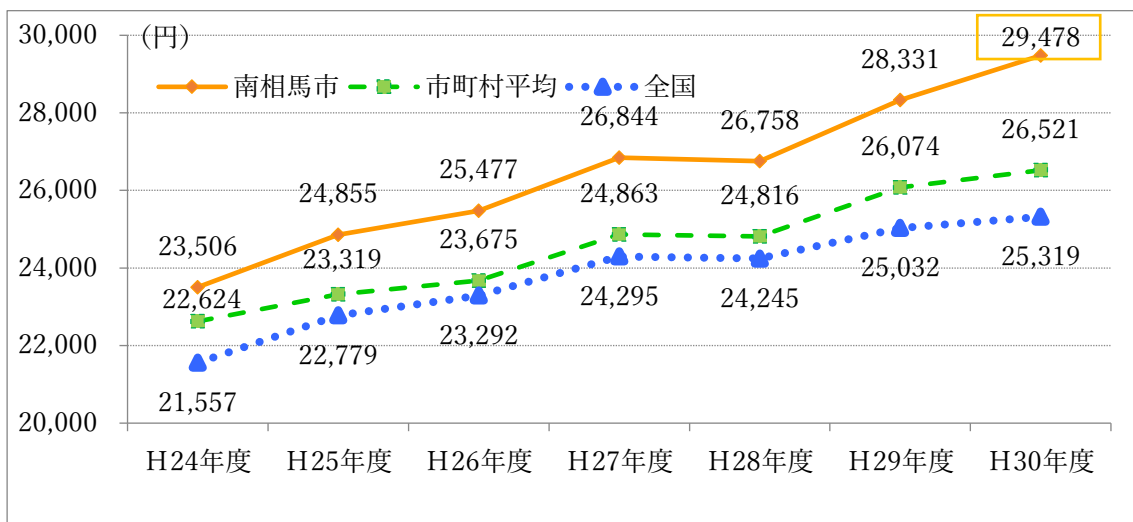
※平成29年以降は平成27年国勢調査に基づくため、避難指示地域の影響がある

出典：KDB「地域の全体像の把握」「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

- ・国保の加入者の割合は、福島県、全国と比べて高い状況です。  
国保に占める前期高齢者の割合は年々増加しており、高齢化が進んでいます。
- ・年齢階級別では65歳以上の被保険者の割合が45.7%と高く、特に65～69歳の割合が高い状況です。

##### (2) 医療費の状況

図表2 一人当たりの医療費の推移



出典：KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

- ・一人当たりの医療費は約2万9千円となっており、福島県、全国の平均より高く、平成28年度より伸び率が大きくなっています。
- ・要因として、被保険者の加入率は横ばいで推移しているのに対し、65歳以上の加入者が増えたことに伴い、医療費も増加したと推察されます。

図表3 平成30年度 医療費分析 (各医療費の全体を100%として計算)

	疾患名 (入院+外来)	割合	疾患名 (入院)	割合	疾患名 (外来)	割合
1位	糖尿病	6.9%	統合失調症	8.0%	糖尿病	10.1%
2位	高血圧症	4.6%	肺がん	3.3%	高血圧症	7.0%
3位	統合失調症	4.0%	大腸がん	2.4%	脂質異常症	4.5%
4位	関節疾患	3.8%	関節疾患	2.2%	不整脈	3.0%
5位	慢性腎臓病 (透析あり)	3.2%	狭心症	2.1%	肺がん	2.6%

出典:KDB「医療費分析(2)大、中、細小分類」

図表4 人工透析患者の合併症の推移

	人工透析 実人数	糖尿病		高血圧		高尿酸血症		脂質異常症		虚血性心疾患	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H27年	57	33	57.9%	55	96.5%	28	49.1%	17	29.8%	19	33.3%
H28年	62	33	53.2%	59	95.2%	28	45.2%	24	38.7%	23	37.1%
H29年	64	40	62.5%	62	96.9%	33	51.6%	27	42.2%	25	39.1%
H30年	51	35	68.6%	49	96.1%	27	52.9%	25	49.0%	19	37.3%

出典:KDB「様式3-7人工透析のレセプト分析(7月)」

図表5 虚血性心疾患患者の合併症の推移

	虚血性心疾患 実人数	糖尿病		高血圧		高尿酸血症		脂質異常症	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H27年	1,015	417	41.1%	860	87.7%	19	33.3%	718	70.7%
H28年	973	399	41.0%	815	83.8%	23	37.1%	675	69.4%
H29年	912	405	44.4%	776	85.1%	25	39.1%	645	70.7%
H30年	885	396	44.7%	744	84.1%	19	37.3%	636	71.9%

出典:KDB「様式3-5虚血性心疾患のレセプト分析(7月)」

図表6 脳血管疾患患者の合併症の推移

	脳血管疾患 実人数	糖尿病		高血圧		高尿酸血症		脂質異常症	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H27年	729	274	37.6%	563	77.2%	87	11.9%	391	53.6%
H28年	743	271	36.5%	567	76.3%	86	11.6%	374	50.3%
H29年	677	255	37.7%	508	75.0%	89	13.1%	351	51.8%
H30年	656	249	38.0%	504	76.8%	91	13.9%	355	54.1%

出典:KDB「様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析（7月）」

- ・医療費額の割合では、入院+外来、外来ともに「糖尿病」が最も多くなっています。
- ・人工透析患者数は横ばいで、68.6%は「糖尿病」を起因としており、約40%に「虚血性心疾患」を併発しています。
- ・虚血性心疾患患者数は減少傾向ですが、約88%に「高血圧症」の合併があります。
- ・脳血管疾患患者の数は減少傾向ですが、約77%に「高血圧症」の合併があります。

### (3) 死亡の状況

図表7 主な死因別死亡率（人口10万対）

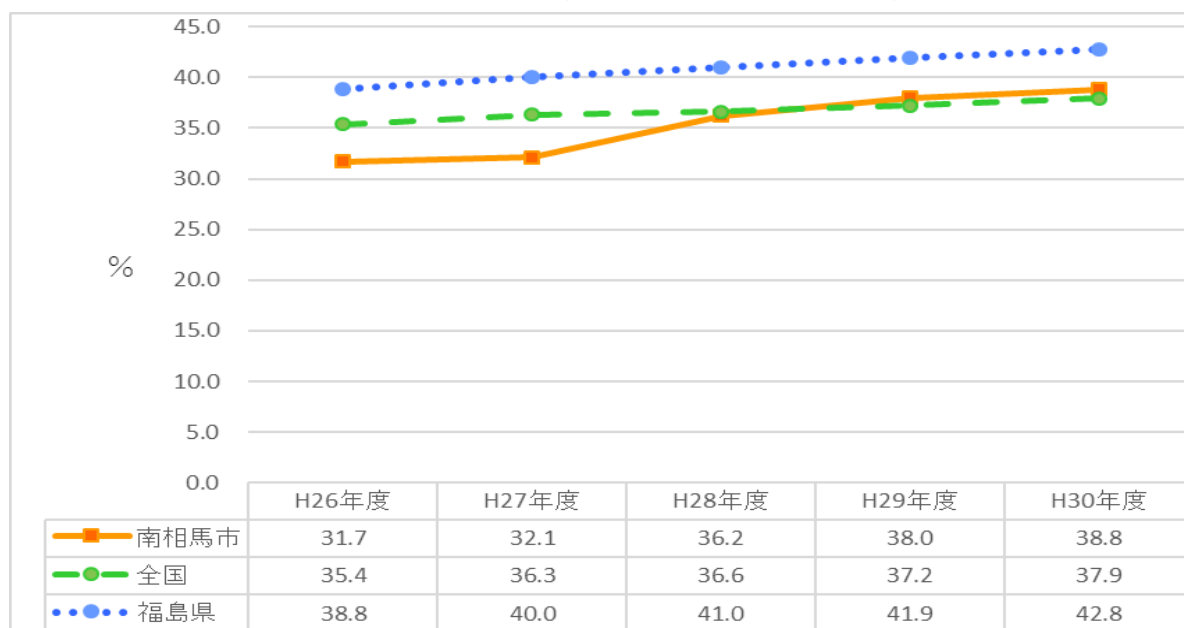
	H27年		H28年		H29年		H30年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
悪性新生物	410.6	266.7	404.2	372.3	458.1	368.4	468.3	427.9
糖尿病	9.6	18.8	9.7	11.5	6.6	15.8	10.1	28.3
腎不全	9.6	26.3	29.1	23.0	19.9	31.7	33.7	32.3
心疾患（高血圧性除く）	247.0	285.5	184.3	295.6	245.7	305.0	249.3	363.3
急性心筋梗塞	109.1	105.2	71.1	69.1	79.7	59.4	67.4	60.6
その他の虚血性心疾患	19.2	22.5	9.7	11.5	13.3	15.8	27.0	16.1
不整脈及び伝導障害	22.5	15.0	16.2	26.9	19.9	19.8	10.1	24.2
脳血管疾患	144.3	184.1	87.3	211.1	96.3	162.4	97.7	141.3
くも膜下出血	9.6	22.5	3.2	23.0	3.3	19.8	3.4	24.2
脳内出血	54.5	33.8	16.2	42.2	33.2	39.6	27.0	44.4
脳梗塞	80.2	120.2	61.4	145.9	59.8	103.0	67.4	72.7

出典：福島県健康福祉部「保健統計の概況」

- ・主な死因は、悪性新生物が男女とも最も多い状況です。
- ・心疾患、脳血管疾患は女性に高く、急性心筋梗塞は男性に高い傾向にあります。
- ・経年変化を見ると、女性の糖尿病と心疾患で増加が大きい状況です。

#### (4) 国保特定健診の状況

図表8 H30年度特定健診受診率の推移（南相馬市・福島県・全国）

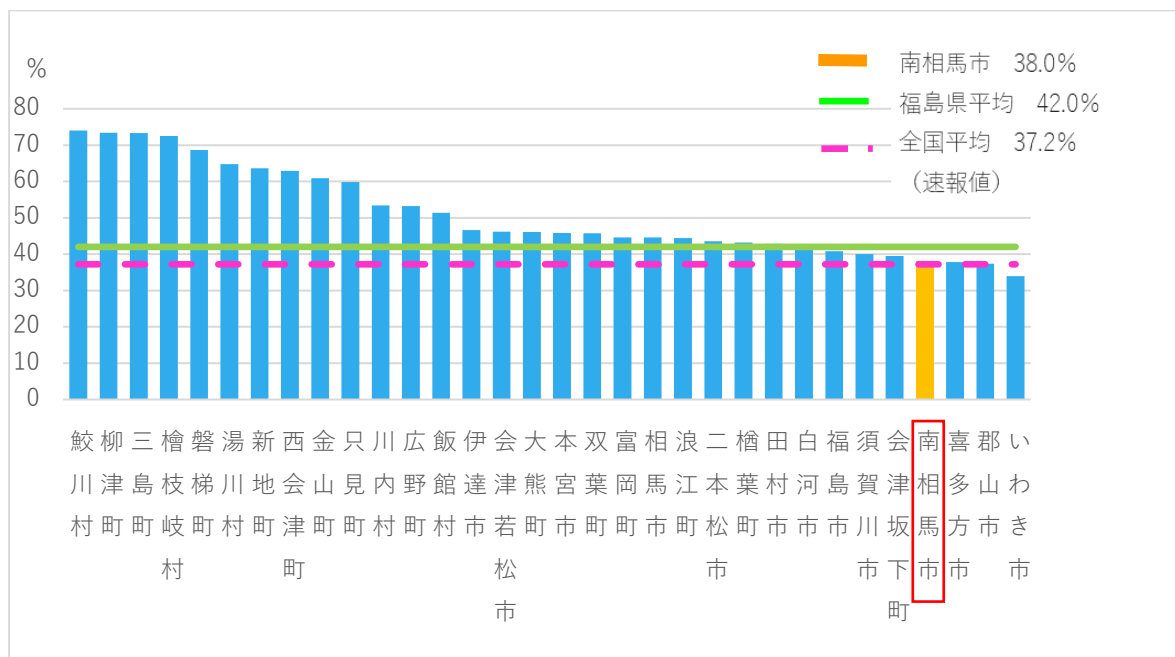


出典：法定報告値



図表9 H29年度県内市町村別特定健診受診率の状況（31市町村抜粋）

※平成29年度の短期目標の実績値で比較

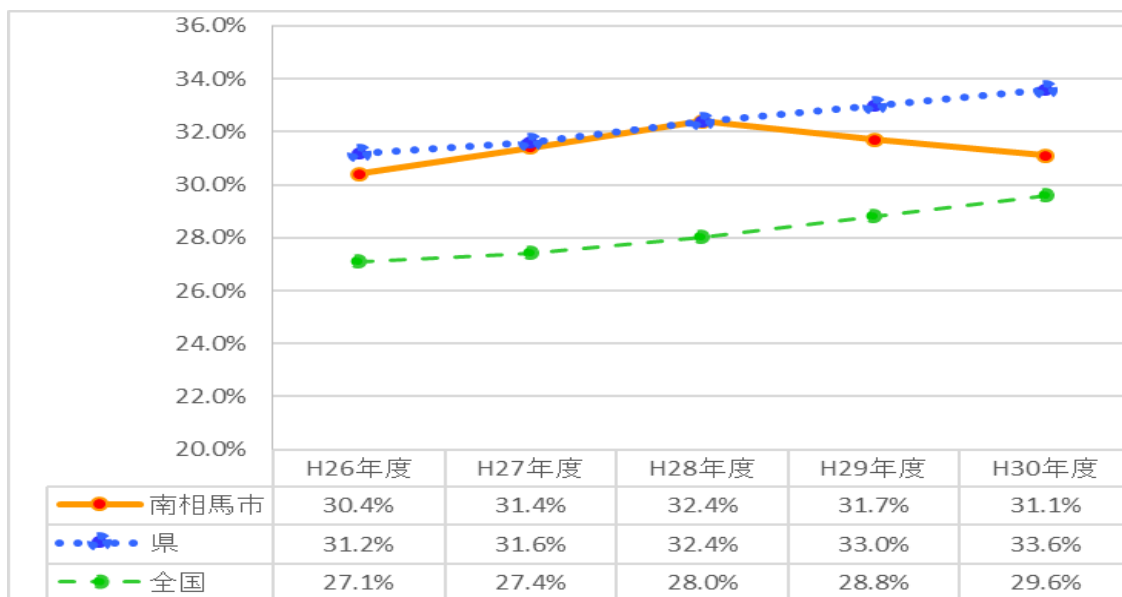


（抜粋市町村は保健指導率上位10市町村及び県内13市、相双管内市町村）

出典：福島県国民健康保険団体連合会、国民健康保険中央会

・平成29年度の特定健診受診率は38.0%で、短期目標の目標値33.0%を上回り、平成30年度は38.8%まで増加しました。  
 要因としては、土日健診の実施や未受診者への受診勧奨ハガキの送付、追加健診の実施による効果と考えます。  
 しかし、福島県平均42.0%には届いておらず、県内市町村と比較すると低い状況にあります。引き続き受診率向上の取組みが必要と考えます。

図表10 メタボリックシンドローム該当者・予備群の推移



出典：南相馬市 法定報告値

図表11-(1) 健診結果有所見の状況（男性）

男性	摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける				メタ以外の 動脈硬化要因	臓器障害	
	BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	血糖	HbA1c	尿酸	LDL-C	クレアチニン	心電図	
	25以上	85以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	120以上	1.3以上		
H27年	人数	691	1,070	544	489	208	982	1,046	0	959	2	1
	割合	35.4%	54.8%	27.9%	25.1%	10.7%	50.3%	53.6%	0.0%	49.2%	0.1%	0.1%
H28年	人数	752	1,147	536	471	171	1,076	1,181	11	1,005	5	301
	割合	36.5%	55.7%	26.0%	22.9%	8.3%	52.3%	57.4%	0.5%	48.8%	0.2%	14.6%
H29年	人数	779	1,100	557	480	145	1,077	1,275	43	970	2	89
	割合	37.8%	53.4%	27.0%	23.3%	7.0%	52.3%	61.9%	2.1%	47.1%	0.1%	4.3%
H30年	人数	773	1,086	546	485	170	1,111	1,225	62	933	6	238
	割合	37.9%	53.3%	26.8%	23.8%	8.3%	54.5%	60.1%	3.0%	45.8%	0.3%	11.7%

(※HbA1cの有病者状況は平成24年度のみJDS値5.2以上の対象者を記載しています。)

出典：KDB「様式 5-2 健診有所見者状況」

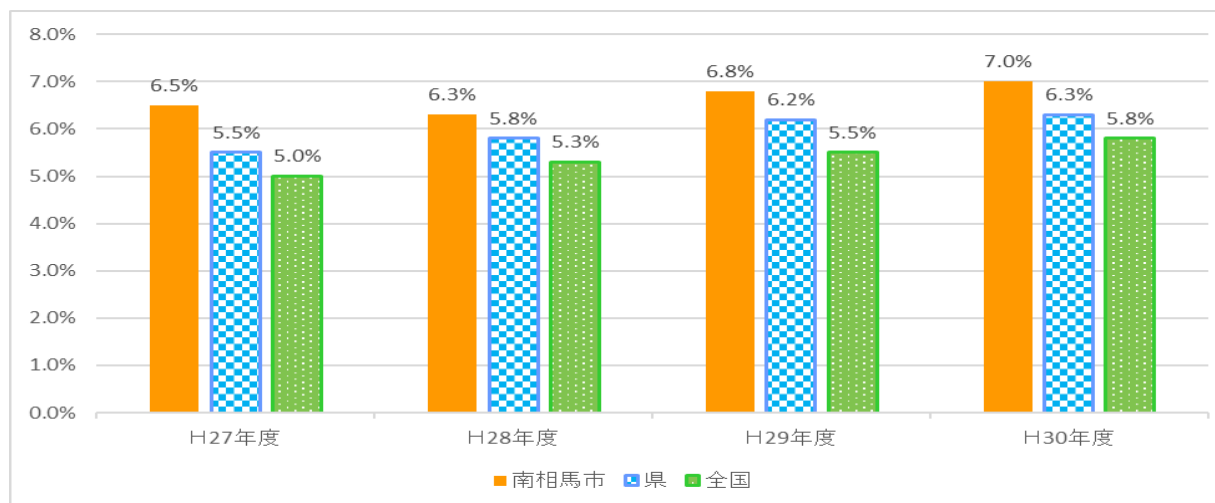
図表 1 1 - (2) 健診結果有所見の状況（女性）

女性		摂取エネルギーの過剰					血管を傷つける			メタボ以外の 動脈硬化要	臓器障害	
		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL-C	血糖	HbA1c	尿酸	LDL-C	クレアチン	心電図
		25以上	90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	120以上	1.3以上	
H27年	人数	672	510	441	277	79	844	1,340	0	1,483	0	2
	割合	25.5%	19.3%	16.7%	10.5%	3.0%	32.0%	50.8%	0.0%	56.2%	0.0%	0.1%
H28年	人数	812	602	437	268	54	902	1,556	1	1,611	0	203
	割合	28.5%	21.1%	15.3%	9.4%	1.9%	31.6%	54.6%	0.0%	56.5%	0.0%	7.1%
H29年	人数	798	604	412	229	42	893	1,683	5	1,556	0	59
	割合	28.3%	21.4%	14.6%	8.1%	1.5%	31.7%	59.7%	0.2%	55.2%	0.0%	2.1%
H30年	人数	768	570	409	249	46	934	1,650	8	1,482	1	207
	割合	27.4%	20.3%	14.6%	8.9%	1.6%	33.3%	58.9%	0.3%	52.9%	0.0%	7.4%

(※HbA1cの有病者状況は平成24年度のみJDS値5.2以上の対象者を記載しています。)

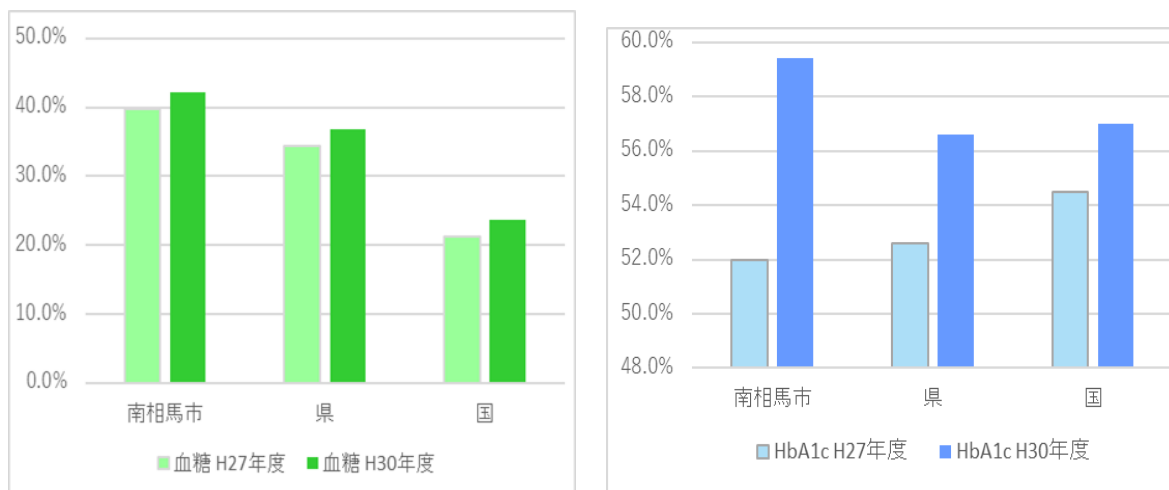
出典：KDB「様式 5-2 健診有所見者状況」

図表 1 2 「血糖 + 血圧 + 脂質」の有所見者の推移



出典：KDB「地域の全体像の把握」

図表 1 3 血糖・HbA1c 検査の状況



出典：KDB「様式 5-2 健診有所見者状況」

- ・特定健診結果では、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況は減少傾向ですが、全国と比較するとやや高い状況です。
- ・男性では腹囲、血糖、HbA1c 検査において、50%以上が基準値を超えていました。
- ・女性では HbA1c、LDL-c 検査において、50%以上が基準値を超えていました。
- ・血糖+血圧+脂質など重複するリスクの組み合わせの該当者が増加しています。
- ・生活習慣病の予防及び重症化予防の保健指導に注力する必要があります。

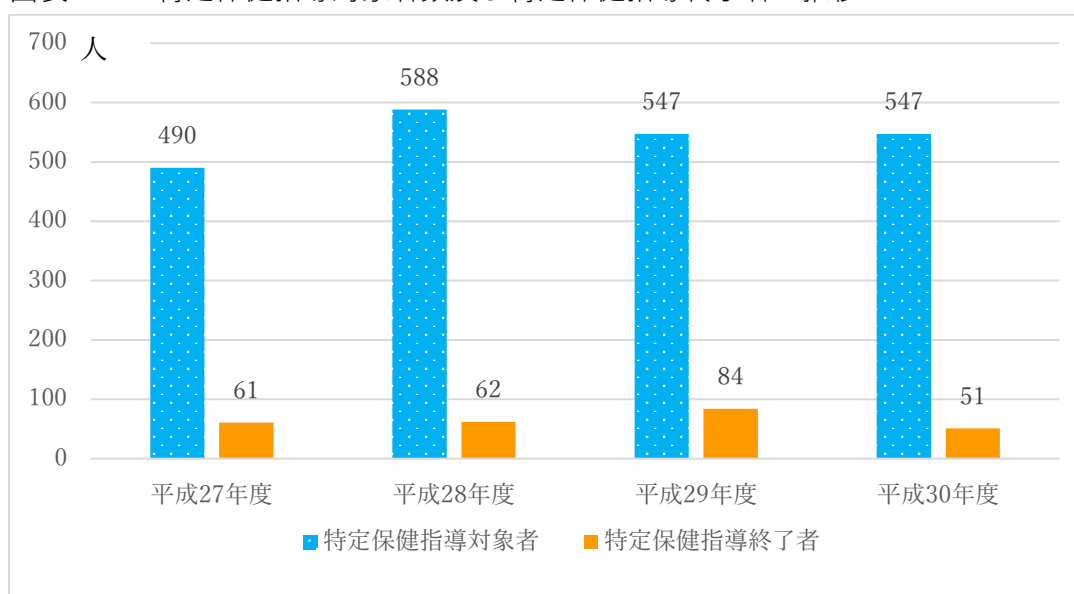
(5) 特定保健指導の状況

図表 1 4 特定保健指導対象者数及び特定保健指導終了者数

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
特定保健指導対象者		490 人	588 人	547 人	547 人
特定保健指導終了者		61 人	62 人	84 人	51 人
特定保健指導終了率		12.4%	10.5%	15.4%	9.3%
再掲 内訳	積極の対象者	142	134	149	146
	終了者割合	3.5%	6.7%	7.4%	3.4%
	動機づけ対象者	348	454	398	401
	終了者割合	16.1%	11.7%	18.3%	11.5%

出典：法定報告値

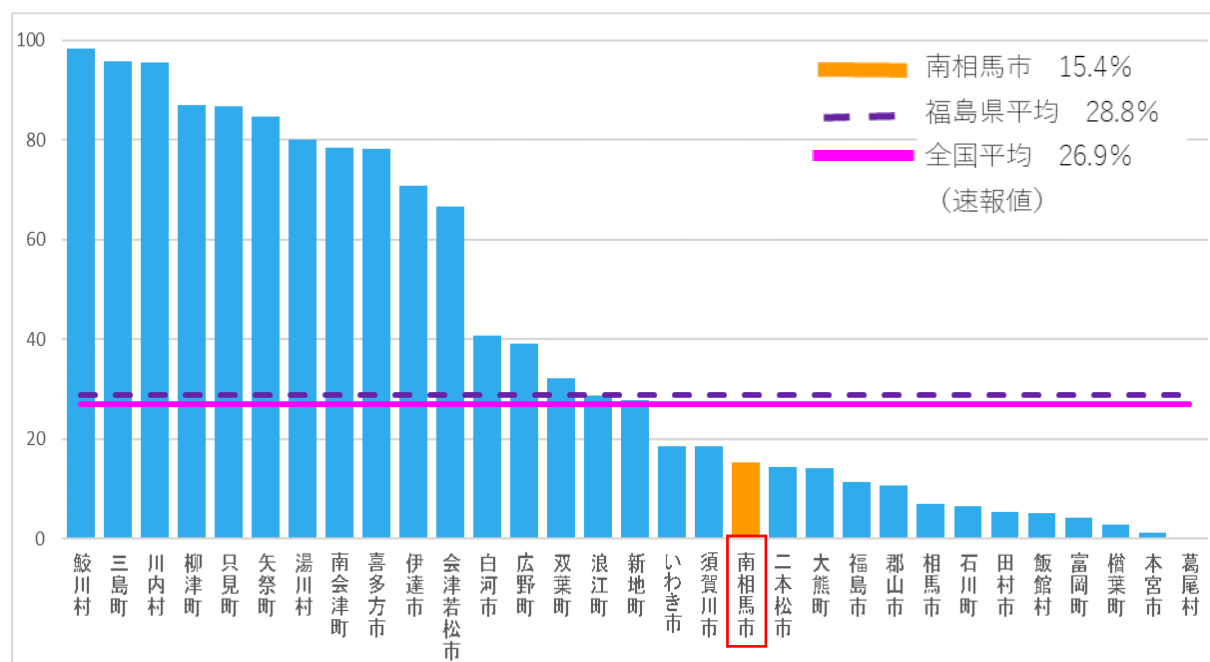
図表 1 5 特定保健指導対象者数及び特定保健指導終了者の推移



出典：法定報告値

図表 1 6 H 2 9 年度 県内市町村別特定保健指導率の状況 (30 市町村抜粋)

※平成 29 年度の短期目標の実績値で比較



(抜粋市町村は保健指導率上位 1 0 市町村及び県内 13 市、相双管内市町村)

出典：福島県国民健康保険団体連合会、国民健康保険中央会

- ・ 特定保健指導終了者の割合は目標値より大きく下回り、県や全国の平均よりも低い状況にあります。
- ・ 特定保健指導率を経年的にみると年度により実施率に±5%の差があります。要因としては、委託先の特定保健指導を利用されなかった方に対し、市の保健師が特定保健指導を実施する体制のため、タイムリーな関りが持てずに利用に至らないことが考えられます。
- ・ 健診結果発送後、タイムリーな関りが持てるよう見直しを図る必要があります。

## 5. 短期・中長期目標の達成状況

※平成 28 年度に設定した短期、中長期目標の達成状況から評価を行いました。

(1) 短期目標として平成 28 年度から平成 29 年度まで短期目標の 4 項目について評価を行いました。

	項目	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	H26年度 (策定時の ベースライン)	経年変化		目標値 (H29年度)	改善状況 ※1	達成状況 ※2	変更後 目標値 R5年度
				H28年度	H29年度				
短期 目標	特定健康診査受診率の向上	特定県健康診査受診率	31.7%	36.2%	38.0%	33.0%	増加	A	50.0%
	特定保健指導実施率の向上	特定保健指導実施率	13.3%	10.5%	15.4%	19.0%	増加	B	50.0%
	特定健康診査受診者における メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合	30.4%	32.4%	31.7%	H26年度 より 減少	増加	C	28.0%
	血糖・血圧・脂質の重複した リスクを持つ割合の減少	血糖・血圧・脂質の重複した リスクを持つ割合	6.5%	6.3%	6.8%		増加	C	6.5%

※1 改善状況：目標値と H29 年度の実績値で評価

※2 達成状況：A（目標達成）B（目標に達しないが改善傾向）C（変わらない）D（悪化している \* - 5%以上）E（評価困難）

(2) 中長期目標として、平成 28 年度から令和元年度までの達成状況について評価を行いました。

	項 目	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	H26年度 (策定時の ベースライン)	経年変化				目標値 (R元年度)	改善状況 ※1	達成状況 ※2	変更後 目標値 (R5年度)
				H28年度	H29年度	H30年度	R元年度				
中長期 目標	Ⅱ度高血圧以上の割合の減少	特定健康診査の結果 Ⅱ度高血圧 (160/100mmHg) 以上の割合	2.9%	3.7% (210人)	3.0% (158人)	2.7% (138人)	2.8% (142人)	2.5%	増加 (悪化)	C	H30年度 より減少
	糖尿病有病者の増加の抑制	特定健診の結果 HbA1c (NGSP)6.5%以上の割合	7.1%	8.1% (459人)	10.6% (550人)	9.5% (492人)	11.1% (554人)	7.0%	増加 (悪化)	C	
	脂質異常症の割合の減少	特定健診の結果 LDLコレステロール180mg/dl以上の割合	4.3%	4.0% (224人)	4.0% (211人)	3.0% (154人)	3.2% (161人)	4.1%	減少 (改善)	A	
	新規人工透析患者の減少 (生活習慣病由来のもの)	新規人工透析患者数 (糖尿病由来のもの) * KDB人工透析のレセプト分析：7月分	14人	/	/	10人	4人	H26年度 より 減少	減少 (改善)	A	
	脳血管疾患患者数の減少 (脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)	脳血管疾患患者数 * KDB脳血管疾患のレセプト分析：7月分	744人	743人	677人	656人	649人		減少 (改善)	A	
	虚血性心疾患患者数の減少 (狭心症、心筋梗塞)	虚血性心疾患患者数 * KDB虚血性心疾患のレセプト分析：7月分	1,086人	973人	912人	885人	815人		減少 (改善)	A	

※1 改善状況：目標値と R 元年度の実績値で評価

※2 達成状況：A (目標達成) B (目標に達しないが改善傾向) C (変わらない) D (悪化している \* - 5 % 以上) E (評価困難)



## 6. 個別保健事業の評価と見直し

事業名	新規	評価結果・課題 (プロセス・ストラクチャー)	見直し内容	今後の計画
特定健康診査		目標値には達していないが、未受診者への通知、土日実施、普及啓発の工夫等を行い徐々に受診率は上昇している。	通院中の方、若年層で未受診者が多い傾向のため、受診体制や受診勧奨の検討が必要。	継続
特定保健指導		目標値とは大きな開きがあり、健診から初回面談までの期間を短縮し、利用動機を高めるような啓発が必要と考える。	外部委託と直営の併用で実施しているが、実施時期がタイムリーでないため、実施体制、方法、実施時期等の見直しが必要。	継続
糖尿病性腎症重症化予防	○	特定健診後、受診勧奨値以上の方へ受診勧奨を実施していたが、治療中の方にも腎機能低下が見られるため、新規透析患者数を増やさないためにも、取り組みが必要と考える。	「南相馬市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、新規に実施する。	令和元年度より実施
生活習慣病重症化予防事業		特定健診後、血圧・血糖・脂質が受診勧奨値以上の方に医療機関への受診勧奨を実施しているが、対象者が多く勧奨の時期がタイムリーでない。	虚血性心疾患、脳血管疾患患者の抑制のためのリスク要因から、対象者を階層化し、優先度をつけて実施する。	継続
重複・多剤処方対策		対象者への保健指導は実施しているが、保健指導のみでは、医療費や処方調剤の減少までの効果は難しい。	医師会や薬剤師会とも連携を図り、被保険者の意識や知識の向上に繋がる取り組みも実施する。	継続
後発医薬品の使用促進 (ジェネリック医薬品)	○	生活習慣病の増加により服薬等の薬剤にかかる医療費が増大していることから、後発薬品の利用促進のための取り組みが必要と考える。	新規に実施する。	令和元年度より実施

## 7. 令和2年度以降の新たな個別保健事業の評価指標及び目標値

No.	事業名	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	H30年度 (ベースライン)	目標値				
				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
1	特定健康診査	特定健診受診率	38.8%	40.0%	41.0%	42.0%	45.0%	50.0%
2	特定保健指導	特定保健指導実施率	9.3%	40.0%	42.0%	44.0%	45.0%	50.0%
		メタボリックシンドローム該当者 及び予備群の割合	31.1%	31.0%	31.0%	30.0%	29.0%	28.0%
3	糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病未治療者への保健指導実施率	新規	80.0%	→			
		新規人工透析患者数 (糖尿病性腎症由来)	10人	10人以下	→			
4	生活習慣病重症化予防事業 ・虚血性心疾患の予防 ・脳血管疾患の予防	保健指導実施率	新規	80.0%	→			
		保健指導介入後の医療機関受診率	新規	70.0%	→			
5	重複・多剤投与者指導事業	重複・多剤投与者への保健指導率	58.3% (重複・頻回)	90.0%	→			
6	後発医薬品の使用促進 (ジェネリック医薬品)	ジェネリック医薬品の使用割合	69.5%	80.0%	→			

## 8. 中間評価のまとめ

データヘルス計画の後半では、引き続き生活習慣病の予防として特定健康診査、特定保健指導の実施率の向上に努めます。

特定健診未受診者対策として、普及啓発の工夫（広報のタイミング、効果的な媒体作成）や医師会と連携し通院中の方への受診勧奨等を取り組みます。

特定保健指導利用率向上に向けて、タイムリーな保健指導の実施、保健指導力実施者の資質向上のための研修を実施し、効果的な保健指導に取り組みます。

併せて、生活習慣病の中でも糖尿病の発症予防、糖尿病性腎症の重症化予防として保健事業を取組み、医療費の抑制を図ります。